



出品者への適切なフィードバックを通じて、コレクションの発展に寄与する 全国切手展「スタンペックスジャパン2023」作品募集要綱

(特非)郵趣振興協会 / (公財)通信文化協会(郵政博物館)

競争切手展は、欧州のフィラテリーから生まれ、世界の様々な国籍・人種のフィラテリストが参加する国際郵趣連盟(以下、F I P)の規範作りの下、永年に渡り進化し続けてきたフィラテリーの文化であり、審査競技です。

全国切手展「スタンペックスジャパン2023(以下、本展覧会)」は、この審査競技を適切に運用する競争切手展で、審査員の人選はじめ、我が国で開催される競争切手展の中で、F I Pの審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展です。また、出品者への適切なフィードバックを通じてコレクションの発展に寄与することを目指すことも、本展覧会の特徴の一つです。

つきましては、以下の要領により、皆様からの競争出品を募集いたしますので、ふるってご応募ください。

1. 実施

会期: 2023年3月25日(土)~27日(月)(3日間)
会場: 郵政博物館(東京都墨田区・東京スカイツリータウン内)
規模: 90フレーム
主催: (特非)郵趣振興協会 / (公財)通信文化協会(郵政博物館)

2. 審査体制

審査は、F I Pの定める国際切手展の審査基準(以下F I Pルール *1)に準拠して行い、各出品作品に得点を与えます。これを實現する為に、主催者は、世界的に通用するF I Pルールの理解と運用に優れた人物を審査委員長として招聘することに注力する事とします。また、審査委員長が決定した後は、審査業務ならびに審査員の選任は後述する審査委員会に一任し、審査業務に関する、審査委員会の独立を妨げないものとします。

審査委員長は、第4項の部門の審査資格を持つF I P登録審査員を中心に、審査員の人選を行い、審査委員会を組織します。審査の方式、賞の決定については、現在の世界での競争切手展の潮流に従ったものとなる前提で、審査委員長がその運用を決定します。

なお、現在世界で開催されている国際切手展の出品資格の1つは、『F I Pルールに準拠して開催される全国切手展で75点以上を獲得すること』です。本展覧会で75点以上を獲得した作品は、それに該当することとなり、国際切手展への出品資格を獲得します

*1 本展覧会においては、以下の規則になります。

GREX, SREV 伝統郵趣, SREV 郵便史, SREV ステーションナリー

3. 授賞の概要

審査得点に応じて、それぞれ、大金(90点以上)、金(85点以上)、大金銀(80点以上)、金銀(75点以上)、大銀(70点以上)、銀(65点以上)、銀銅(60点以上)、銅(55点以上)の各賞を授与します。

また、大金賞受賞作品の内の一作品にグランプリを授与することがある他、特に優秀な出品作品には特別賞を授与することがあります。

4. 出品部門

- 第1部門 伝統郵趣
- 第2部門 郵便史
- 第3部門 ステーションナリー

5. フレームの割当数と出品料およびリーフサイズ

- ・フレームの割当数: 5または8フレームです。
- ・出品料は、1フレームあたり3,000円です。
- ・(特非)郵趣振興協会の2022年度賛助会員には1フレームあたり1,700円の特別出品料が適用されます。
- ・第7項で後述する展示作品の決定後、出品料支払いの詳細を連絡します。なお、支払期限は2月1日です。
- ・リーフサイズは自由ですが、切手コレクション展示パネルの1フレームの大きさは横98cm×縦123cmですので、その範囲におさまるように作品を作成してください。

6. 出品規約と出品申込

出品申込に際しては、所定の出品申込書に必要事項を記載の上、タイトルリーフを含む2リーフをカラーコピーもしくはメール添付画像と共に、本展覧会の出品申込書の送付先にお送りください。

出品申込書の送付先(各種お問合せ先)

- | | |
|--------|-------------------------------|
| ・電子メール | info@kitte.com |
| ・ファクス | 03-6700-1585 |
| ・郵便 | 102-0083 海事ビル内郵便局留置
郵趣振興協会 |

なお出品申込書に記載の通り、出品申込書の提出を以て、本作品募集要項の記載内容に従うことを承諾したものと見なします。

出品申込の受付期間は2022年10月1日(土)~2022年12月21日(水)です。

7. 展示作品の選定および選定結果の通知

本展覧会の規模は90フレームと小さい為、出品申込された作品を、全て展示することは困難な可能性が高いと思われます。この為、実行委員会では、出品申込の受付期間終了後に、出品申込時に提出された書類等を下に、展示作品の選定を行います。

展示作品の選定結果は、2023年1月1日に当協会のホームページで発表しますが、それに先立ち、全ての出品申込者に郵便等で結果をご連絡します。

なお、選定の結果展示いただけない作品に対する理由開示は、一切行いません。また、出品申込が受理された場合の展示キャンセルは、原則として受け付けません。

8. 展示作品の搬入と展示作業および展示作品のセキュリティ

- ・第7項で展示が認められた出品申込者には、本展覧会専用の出品物提出用の封筒(以下、出品封筒)を送付します。出品物は、この封筒に入れて提出してください。
- ・出品物は取り外し可能な保護カバーをつけ、各リーフの表面右下に展示順の番号を記してください。
- ・作品の搬入は、郵送と郵政博物館への持参で受け付けます。詳細は出品封筒の送付時にご案内差し上げますが、現時点では、以下の通り予定しております。

郵送による作品の送付(予定)

2023年3月18日(土)午前中を配達指定日時とし
日本郵便のゆうパックにてお送りください

持参による作品の搬入(予定)

2023年3月18日(土)正午から午後2時の間にご
持参ください

送付先・持参先

131-8139 墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ9階
郵政博物館 スタンペックス係

- ・会期中の作品のセキュリティについて相応の対策を講じますが、作品の輸送時、保管時、会期中の展示・撤去の際のマテリアルの紛失・汚損などについては責任を負いません。出品物の保険については出品者個人の責任と負担において付保するものとします。
- ・物理的に切手コレクション展示パネルに格納できない作品(厚すぎるリーフ含めて)やFIPルール上禁止されている黒色ないしは濃色のリーフが含まれている作品は、その一部もしくは全部の展示を中止します。なお、これ以外にも主催者は理由を開示することなく、出品作品の展示を拒否する等の権限を有しますが、展示されなかった場合も出品料は返却されません。
- ・μ切を過ぎて到着した作品は審査の対象外となります。作品未着の場合、出品料は返金されません。

9. 作品の返却

作品は、3月28日夕方に返却します。予め引取を希望された方以外は、実行委員会指定の梱包で着払いセキュリティゆうパックにて出品者指定の郵送先に返送します。搬入時の出品用封筒以外の個人的な梱包等は、主催者の判断により廃棄することがあります。

10. 審査結果の発表と授賞式

展示作品は、審査委員会が会期前に審査を行った上で、開場までに賞を各作品の第1フレーム左上に表示致します。

枝点を含めた審査結果は、同会場で配布すると共に、ホームページで発表します。

授賞式は、切手展初日(3月25日)の夜に開催予定のパーティー(有償)において、実施する予定です。

11. クリティーク

クリティークは『審査員との対話』と和訳されることもありますが、出品者が本展覧会に競争出品した作品に関し、直接、審査員から個別に今後の改善点等について助言を受ける機会です。

『出品者への適切なフィードバックを通じ、コレクションの発展に寄与する』ことを目指す本展覧会では、このクリティークを最も重要な行事の一つと考えています。

クリティークは会期2日目の開場時刻30分後に開始することが現時点で決定しています。会場へお越しただけでない出品者に対しては、ビデオ会議サービスを通じたクリティークも提供予定です。全ての出品者に、必ずご参加いただきたいと考えています。

クリティークでは『世界で開催されるFIP登録審査員により審査される国際切手展で上位の賞を獲得できる為に、どのような点を改善すれば良いか』について、審査委員会より、国際展の潮流を踏まえてお話ししていただきます。

この点を踏まえた上での質問・相談に対しては審査員は、原則として、時間を限定せずに対応いたしますので、疑問点などは予め準備して臨むことをおすすめいたします。

クリティークは、出品者以外の参観も許可しますが審査員が認める場合を除き私語を禁止します。また、主催者以外によるクリティークの動画撮影は禁止します。

なお、クリティークは、原則として会場で対面で実施を計画しておりますが、感染症の流行状況に応じて、ビデオ会議サービスや書面等に代替することがあります事をご了承ください。

12. 出品者の個人情報の取扱、作品の撮影・掲載

出品者の個人情報は、法令により開示を求められた場合を除き、出品者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。ただし、出品目録ならびに受賞リスト等には、審査結果に加えて、氏名・住所(都道府県名まで)を掲載しますので、ご了承ください。

世界の競争切手展において、フラッシュを使用しない作品の撮影は、参観者に許されており、本展覧会もその運用を踏襲します。また、出品受付時にご提出いただいたタイトルリーフを含むページのコピーは、展覧会のPRを目的として、本展覧会の目録等に掲載すると共に、ホームページを通じて、主催者以外の方がダウンロードしご利用いただけるようにします。

会期中には、ご来場いただけない方を対象に、オンライン会議サービスや動画配信サービスを利用した、作品紹介を行います。この用途に供する為、展示作品は全ページを撮影・スキャンします。PDFダウンロードなどのサービスは提供しませんが、オンライン会議サービスでは全ページが紹介されますので、ご了解ください。

13. COVID-19の流行に伴い開催を中止した場合の対応

COVID-19の流行状況によっては、主催者は、本展覧会の一部ないし全部について、中止の決定を行うことがあります。

展覧会の開催を中止した場合の出品料の取り扱いについては下記の通りとします。(1)FIP登録審査員による審査並びに書面等によるクリティークまでを主催者が提供でき、出品者がそれを希望する場合:20%返金。(2)前二項を主催者が提供できない場合、もしくはそれを希望しない出品者への対応:100%返金

Q&A よくある質問

Q1 スタンペックスジャパンへの出品物の記述言語は英語でなければダメですか?

A1 日本語だけで記述して頂いた作品もご出品を歓迎します。

Q2 スタンペックスジャパンに出品し、初めて金銀賞以上の審査結果を得た場合、国際展への出品資格を得られますか?

A2 はい。スタンペックスジャパンは全国切手展ですので金銀賞以上の作品は資格を得ます。

Q3 過去の『スタンペックスジャパン』では、開催記念行事として、国際展向けのリーフ作りに関してWEBセミナーを行ったと伺いました。今年もセミナーは予定していますか?

A3 出品申込者には、過去のWEBセミナーの内、普遍性のあるプログラムを提供する他、新規WEBセミナーの先取り聴講権利も提供いたします。詳細は別途ご案内差し上げます。